

国際ワークショップ

# 批評と歴史

東アジア批評の伝統の探索・省察

2010年9月6日(月) 10:00-18:20

東京大学駒場キャンパス 18号館 4階コラボレーションルーム 1

使用言語：日本語、韓国語(逐次通訳あり)

入場無料・事前登録不要

10:00 開会挨拶

10:05-10:35 **基調講演**

**ペク・ヨンソ** (延世大学国学研究院院長)  
公共の歴史学としての歴史批評の可能性

10:40-12:00 セッション1 **「伝統と解釈」**

**裴寛紋 (ベ・カンムン)** (UTCP)  
近代日本と宣長問題——『古事記伝』の「皇国」から  
**パク・ヨンド** (延世大学国学研究院研究教授)  
朱熹——朱熹の中華論弁と境界の思考

13:00-14:20 セッション2 **「社会と実存」**

**大橋完太郎** (UTCP)  
ロマン主義の国内飼育 domestication は可能か? ——北村透谷における恋愛と生命  
**ナ・ジョンソク** (延世大学国学研究院研究教授)  
1950年代の韓国における実存哲学と社会批評

14:25-15:45 セッション3 **「政治と文学」**

**呉世宗 (オ・セジョン)** (UTCP)  
「暗黒期」の〈日本語文学〉を再考する——金素雲訳編『乳色の雲』を中心に  
**キム・ハン** (高麗大学民族文化研究院研究教授)  
「リアルなもの」の政治性——韓国における1960年代のリアリズム論争

16:15-17:35 セッション4 **「歴史への視線」**

**月脚達彦** (東京大学)  
「植民地近代性」批判としての申采浩思想の可能性  
**キム・ギボン**  
「生に対する批評 (Criticism of Life)」としての歴史

17:40-18:10 **閉会講演**

**小林康夫** (UTCP)

西山雄二  
UTCP